

Nanbanbunka & Hosokawake

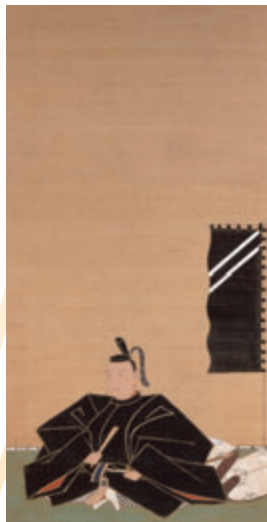
忠興とガラシャ、異国との出会い

細川コレクションでは、熊本の歴史や美術、細川家の大名文化を総合的に紹介する展示を行っています。今回は「南蛮文化と細川家－忠興とガラシャ、異国との出会い－」について特集します。

16世紀半ば以降、ポルトガルやスペインをはじめとした様々な国から宣教師や商人たちが日本へ来航。彼らは鉄砲やキリスト教などの新しい文化をもたらし、その影響は日用品から食物、武器・武具、芸術にいたるまで多岐にわたっています。この桃山時代から江戸時代初期にかけて流行した、異国情緒あふれる文化のことを特に「南蛮文化」といい、武将も庶民もこぞって憧れました。文武の才能に秀でた武将・細川忠興(三斎)も南蛮文化に魅了されたひとりです。忠興の妻である玉は、キリスト教の洗礼を受けて「細川ガラシャ」となりました。

本展では、南蛮貿易によって細川家にもたらされた文物やガラシャ書状、ローマ字印をもちいた忠興や、息子・忠利の書状などを紹介します。また、日本人によって描かれた西洋風の絵画《洋人奏楽図屏風》(重要文化財)を特別展示します。ぜひ、この機会に「異国との出会い」をお楽しみください。

常設展示では、細川家の藩主が用いた甲冑や、近世絵画の他、護立コレクションから小林古径《鶴と七面鳥》、堅山南風《霜月頌》を展示します。



《細川忠興像》江戸時代前期(17世紀)
永青文庫所蔵 ※10/10～11/8



矢野吉重筆《細川忠利像》寛永20年(1643)
永青文庫所蔵 熊本県立美術館保管
※11/10～12/23



細川忠利用《淡茶紅裾替わり羅紗陣羽織》江戸時代前期(17世紀)
永青文庫所蔵 ※10/10～11/8



細川斉茲所用《白緋羅紗段替わり陣羽織》江戸時代後期(19世紀)
永青文庫所蔵 ※11/10～12/23

南蛮文化と 細川家

特集
細川コレクション

同時期開催

日本遺産認定記念 「ほとけの里と相良の名宝 人吉球磨の歴史と美」

10月14日(水)～11月29日(日)
本館2階展示室

豊かな仏教美術と、相良氏を中心に展開した球磨の古代中世の歴史を展観する初めての試みです。

「ジョルジュ・ルオー展 心揺さぶる魂の色彩 —フランス絵画の巨匠—

9月25日(金)～11月23日(月・祝)
本館1階展示室

世界有数のルオー・コレクションを誇るパナソニック汐留ミュージアムの所蔵品150点で、70年におよぶ画業をたどります。

美術館コレクションⅢ常設

12月5日(土)～12月23日(水・祝)
本館2階展示室 第2・3室

当館の所蔵品を中心にして、古美術から近現代までの作品をご紹介します。

関連イベント

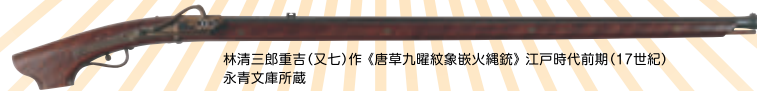
ミュージアムセミナー

11月21日(土)
14:00～15:00
本館講堂

学芸員 宮川聖子「南蛮文化と細川家」
※事前申込不要、参加費無料です。



林八助重勝作《九曜紋散象嵌火縄銃》江戸時代前期(17世紀)
永青文庫所蔵



林清三郎重吉(又七)作《唐草九曜紋象嵌火縄銃》江戸時代前期(17世紀)
永青文庫所蔵



《細川ガラシャ消息》桃山時代(16世紀)
永青文庫所蔵 ※10/10～11/8



伝細川三斎筆《扇面歌留多》江戸時代前期(17世紀)
永青文庫所蔵



《うんずん歌留多蒔絵大鼓筒》
江戸時代(17～18世紀)
松井文庫所蔵

交通案内

- バス/交通センターから歩いて15分、または交通センターで熊本城周遊バス(通称:しろめぐりん)に乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分
- 市電/「熊本城・市役所前」または「花畑町」下車、歩いて15分
- JR/熊本駅から熊本城周遊バスで「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分。上熊本駅からタクシーで10分
- 阿蘇くまもと空港/空港バスで交通センターへ、センターから歩いて15分。または熊本城周遊バスに乗り換え「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分
- 駐車場/二の丸駐車場(有料)、三の丸駐車場(有料)



KUMAMOTO PREFECTURAL MUSEUM OF ART
熊本県立美術館

本館 〒860-0008 熊本市中心区二の丸2番 TEL.096-352-2111 FAX.096-326-1512

<http://www.museum.pref.kumamoto.jp>

